

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム清水梅ヶ谷の家

目標達成計画

作成日: 平成 28年 9月 30日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向け取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	特に食事時における、利用者自身の食べる力が十分に発揮できる姿勢をとってもらったための、適切なケアがなされていない。職員の気持ちというよりは、知識が不足していると思われる。	食事時において、利用者に適切な座位を取ってもらい、最期まで食生活を楽しめるような質の高いケアを構築する。	・嚥下の仕組みや高齢者の機能低下が食行為に及ぼす影響、好ましい食事時の姿勢等について勉強する機会を設ける。 ・学習した内容を現場の利用者に当てはめて、実践を積み重ねる。	6ヶ月
2	36	一部のケアが、利用者側の立場に立った、利用者の気持ちに配慮した上でのものになっていない。職員が気付かない内に、日常的な場面の中で、利用者の尊厳を傷つけてしまっている可能性がある。	高齢者の気持ちに配慮し、利用者が尊厳を維持できるフロア環境づくりをする。	・ひとつひとつの介護職の行為について、利用者の立場に立ったらどのように感じるのか、職員皆で意見を出し話し合う。 ・利用者の尊厳の維持のために、介護職がとるべき行動のあり方について、改めて学ぶ。	6ヶ月
3					
4					
5					

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。